

粕谷和夫の観察日記。陣馬山東面のレンゲショウマと陣場山山頂のバアソブに会いに行くことが毎年の恒例になっています。レンゲショウマはシカ対策ネットの中でひっそり咲いていました。バアソブは山頂の信玄茶屋という茶屋に保護されていました。バアソブによく似たジイソブ（ツルニンジン）とは「種に翼の有る・無し」で区別できます。

紅葉台



新聞

第148号

2024年

9月21日

発行人：関谷 孝

水の美味しい街 昭島市散歩

中神の和菓子屋本舗 茶の子



以前、この新聞で昭島市の紹介をしました。東京都の中でも水が美味しい街として有名です。それもそのはず都内で唯一、地下からくみ上げた水を飲んでいるからです。その水を使ってお饅頭を作っているのが「茶の子」です。入り口に「7色団子」の写真が貼ってあるのが目につきました。とても綺麗で美味しそうです。何かに惹かれる思いでお店に入ってみました。話を聞くと、店主のこだわりの国産素材を使用、保存料を使用しない天然の色味の和菓子が特徴です。定番から生チョコを使ったアイデア商品まで幅広く揃っています。

場所は、中神駅南口から5分。近くにスーパー「いなげや」があります。地下水で作った水ようかんをはじめビール酵母で作った酵母パン等どれも美味しく食べてくれるお饅頭がたくさんありました。



喫茶店・洋菓子 ムラリ



中神駅南口から3分。ムラリは地元で愛されるケーキ屋さんです。特に舞茸を使用したユニークなケーキが評判です。店内は落ち着いた雰囲気のカフェで居心地のいい場所でした。何より濃厚ながら食べやすいケーキとコーヒーが楽しめるので口コミで好評です。店名のムラリは“笛”という意味で、「吹き手の心そのままを表現する素朴な笛でありたい」との思いから名付けたそうです。オーナーは能登出身と話していました。そのためか海藻をふんだんにかけたスパゲッティーが有名です。海苔の香りが豊かで珍しかったです。また、店内にはたくさんのコーヒカップが飾られていてどれも素敵です。もちろんコーヒーも美味しいですよ！



東京の名湧水57選 諏訪神社・龍津寺



昭島市は、今年で市政70周年になります。東京都で唯一地下水(深層地下水)を水源としているのは昭島市だけです。住んでいる人は皆さん「水が美味しい」と言っています。それもそのはず、水源である深井戸はいずれも青梅線以南に分布しています。井戸の深さはおよそ110mから250m程度。それぞれの井戸の中に水



中ポンプを設置して地下水をくみ上げています。昭島市の水が美味しいのは、山に降った雨や雪が約10年から50年以上という長い年月をかけて昭島市の地下に浸みこみます。この浸みこむ過程で土壌がフィルター役を果たし、不純物を取り除き、炭酸やミネラル成分を溶かしながら浸みこみます。こうして深層地下水を利用する昭島の水道は、ミネラルウォーターと変わらない美味しさになっています。昭島の宝自慢は、地下水100%の水道です。その美味しい水は市内4か所の駅前に立っている「ちかっぱー」(地下水と河童の造語)が公式キャラクターになっていて、そこでは誰でも美味しい水を飲むことができます。

水は命の源。美味しい水を飲みにお出かけになってみてはいかがでしょうか。(写真下は 諏訪神社の湧水)



粕谷和夫の観察日記



家の玄関などに巣をつくるツバメはヒナが巣立った後は夜になると集団でねぐら入りします。集団ねぐらをつくる場所は、大きな川の河川敷などのヨシ原です。ツバメのねぐら入りは壮大

で感動的です。日没直前の30分くらいの間に、数千、数万羽ものツバメが上空を舞い、暗くなるとヨシ原に降りて眠りにつきます。この集団ねぐらが多摩川の日野市栄町先に形成されています。8月3日の夜は約1万6千羽がねぐら入りしました。この写真はねぐら入り後のツバメを懐中電灯で照らして撮ったもので、ピンボケですが、ツバメが写っています。



真夏の片倉城址公園。暑くて鳥も殆どいません。木陰の草の中でシロソウがひっそりと咲いていました。茎の先に暗い紫褐色をした花が複数咲いていました。この濃い色が真夏によく似合います。

昨年8月に片倉城址公園の彫刻「酔っ払いとキツネノカミソリ」の花をアップしました。当然のこととして今年も同じところでキツネノカミソリが赤い花を咲かせました。この酔っばらいは一年中酔っ払っています。(粕谷会長はこの銅像に親近感を感じています)



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。